

資料 3

報道発表資料
平成22年6月16日
気 象 庁

第116回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成22年2月2日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価のほか、最近の桜島の火山活動について特に重点的に検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成22年2月2日～6月15日）、三宅島、福徳岡ノ場、霧島山（新燃岳）、桜島及び諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕 昭和火口では、爆発的噴火が頻発しています。2010年1月以降の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,800mで、弾道を描いて飛散する大きな噴石が最大3合目まで達しました。南岳山頂火口では噴火は発生しませんでした。

爆発的噴火は、5月中旬から6月上旬まで一時的に少なくなり、この時期に桜島直下へのマグマの供給が一時的に減少していたと考えられますが、その後は再び活発な状況です。引き続き、昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕 では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕 では、3月30日及び4月17日にごく小規模な噴火が、5月27日に小規模な噴火が発生しました。引き続き、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕 では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しています。御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、引き続き、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）〕 では、2月3日に小規模な海底噴火が発生しました。引き続き、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火

の兆候は認められません。

② 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 62-2火口付近では、2006年以降、GPS観測により62-2火口浅部の膨張を示すと考えられる局所的な地殻変動がみられ、現在まで継続しています。
- ・ 62-2火口付近の地震活動及び同火口の噴煙活動や熱活動は低調に推移していますが、今後の活動の推移に注意が必要です。

③ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いており、山頂溶岩ドーム付近の局所的な膨張が2006年以降継続しています。また、地震活動は概ね低調ですが、2008年以降は消長を伴いながらわずかな増加がみられています。
- ・ 噴煙活動は低調な状態が継続していますが、今後の活動の推移に注意が必要です。

④ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 2009年8月に確認された女岳北東斜面の噴気地熱域は、12月にかけて拡大しましたが、今期間さらに拡大しているのが確認されました。女岳山頂北部の噴気地熱地帯には特段の変化は認められません。
- ・ 2月24日に火山性微動が観測されました。火山性地震は少ない状況が続いています。

- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

④ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・5月6日に大穴火口の噴気孔周辺で硫黄の燃焼が確認されました。その後、5月16日の現地調査では、硫黄の燃焼は止まっているのが確認されました。
- ・噴気活動はやや高まった状態が続いています。
- ・2010年に入って火山性微動が4回観測されました。火山性地震は2009年10月以降やや多い状態が続いています。
- ・GPS連続観測による地殻変動観測では、2009年末以降、大穴火口を挟む短い基線で伸びの傾向を示しています。
- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要です。また、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑥ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・3月下旬から5月上旬にかけ、振幅の小さな火山性地震の一時的な増加が繰り返し発生しました。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

③ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] ←平成22年4月15日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に引き下げ、火口周辺警報を解除しました。

- ・火山性地震はやや多い状態が続いていましたが、2010年4月以降はやや少ない状態で推移しています。
- ・火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、2010年3月以降はやや少ない状態で推移しています。

- ・ 山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2008年7月初め頃からみられていた深部へのマグマ注入を示す伸びの傾向は鈍化し、2009年秋頃からわずかに縮みの傾向がみられます。
- ・ 火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

④ 新潟焼山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 焼岳 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 白山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 山体周辺のGPSによる地殻変動観測で、2008年8月頃からわずかな伸びの変化が継続しています。この変動は、地下深部の膨張を示していると考えられます。
- ・ その他の観測データで浅部の異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑨ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 伊豆東部火山群 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ GPSによる地殻変動観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が継続しています。短期的にはGPSおよび体積歪計で2009年秋頃から今年5月にかけて収縮傾向がみられ、その後は膨張に転じています。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑫ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 4月10日及び11日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、それぞれ北側及び東側の山麓で降灰を観測しました。

- ・地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化はみられません。
- ・二酸化硫黄放出量は一日あたり1千～2千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です。

⑬ 八丈島 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑭ 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・地震活動は低調な状態で経過しています。2006年8月以降みられていた島全体が隆起する地殻変動は、2010年4月まで停滞していましたが、5月以降わずかに隆起の傾向がみられます。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

⑮ 福德岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・2月3日に小規模な海底噴火の発生が確認されました。
- ・噴火発生後長期間にわたり変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・南側火口壁の赤熱現象は引き続き観測されていますが、最高温度はやや低下しました。一方で湯だまり量は約5割に減少し表面温度も約70℃と高くなりました。
- ・孤立型微動は多い状態で経過していましたが、4月以降やや減少しています。
- ・その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約6km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

③ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 霧島山

- ・昨年末から霧島火山群西側山腹付近を中心とする基線の伸びが観測され、微小な地

震活動がみられます。

新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ← 3月30日に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げましたが、その後、4月16日に噴火予報を発表して噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げ、火口周辺警報を解除しました。5月6日に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

- ・ 3月30日及び4月17日にごく小規模な噴火が発生し、噴煙がそれぞれ火口縁上400m及び300mまで上がりました。また、5月27日に小規模な噴火が発生し、噴煙が火口縁上100mまで上がり雲に入りました。翌28日に行った上空からの観測では、今回の噴火で形成された新たな噴気孔周辺に大きな噴石が飛散しており、噴気孔から南南東約1.5kmの範囲に少量の火山灰が堆積しているのが確認されました。
- ・ 火山性地震は、5月6日に日回数250回以上を観測するなど、3月31日以降増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。火山性微動は3月30日、4月17日及び5月27日の噴火に伴って発生しました。
- ・ 火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）にも注意が必要です。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

- ・ 桜島昭和火口の噴火活動は、2010年5月上旬まで爆発的噴火の多い状態で経過しました。2010年5月中旬から6月上旬まで爆発的噴火が一時的に減少しましたが、その後再び多くなっています。2010年1月以降の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,800m、弾道を描いて飛散する大きな噴石は3合目（昭和火口から1,300～1,800m）まで達しました。
- ・ 火山性地震の発生回数は、2010年5月中旬から6月上旬まで一時的に減少しましたが、6月中旬からはやや増加し、振幅の大きな火山性微動も観測されています。
- ・ 南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。
- ・ 2010年1月～4月に、噴火により放出された火山灰量は、約300万トンと多い状態でした。一方、傾斜計による地殻変動観測では、2010年3月まで山体地盤の隆起が認められました。火山灰の放出量の増加や山体地盤の隆起などから桜島直下へのマグマの供給は多い状態であったと考えられます。4月以降は火山灰の放出量が減少し、5月中旬には山体地盤の沈降傾向がみられたことから、桜島直下へのマグマの供給は一時的に減少していたと考えられます。
- ・ GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）深部の膨張による変化が引き続き観測されています。桜島内においては、2010年初め頃に、2006年の昭和火口の噴火開始以降最大の伸びが観測されました。
- ・ 以上のように、桜島の噴火活動は、6月中旬以降は再び活発な状態です。また、依然としてGPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部の膨張による変化が観測されていることから、今後、更に火山活動が活発化する可能性も考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・ 昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑥ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。
- ・火山性地震は、やや多い状態が続いています。
- ・硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

⑦ 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山性地震は、4月上旬まで増減を繰り返しながら、やや多い状態で経過しましたが、中旬以降は少ない状態で経過しました。
- ・その他の火山活動に特段の変化はなく、新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では引き続き噴気がみられており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

⑧ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・御岳火口では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生し、長期にわたり噴火を繰り返しています。
- ・火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成22年6月16日現在、26火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地 方	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北 海 道 地 方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2008年９月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年４月10日 噴火予報（レベル１、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル１、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2008年６月９日 噴火予報（レベル１、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
東 北 地 方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル１、平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2009年３月31日 噴火予報（レベル１、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2009年３月31日 噴火予報（レベル１、平常）
関 東 ・ 中 部 地 方 ・ 伊 豆 ・ 小 笠 原 諸 島	那須岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2009年３月31日 噴火予報（レベル１、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常） 2009年４月10日 噴火予報（レベル１、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年８月８日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年２月１日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年２月３日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年４月７日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年４月15日 噴火予報（レベル１、平常）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	焼岳	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2008年３月31日 噴火予報（レベル１、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常） 2009年３月31日 噴火予報（レベル１、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月１日 噴火予報（レベル１、平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年３月31日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月１日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月１日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月１日 噴火警報（周辺海域警戒）

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

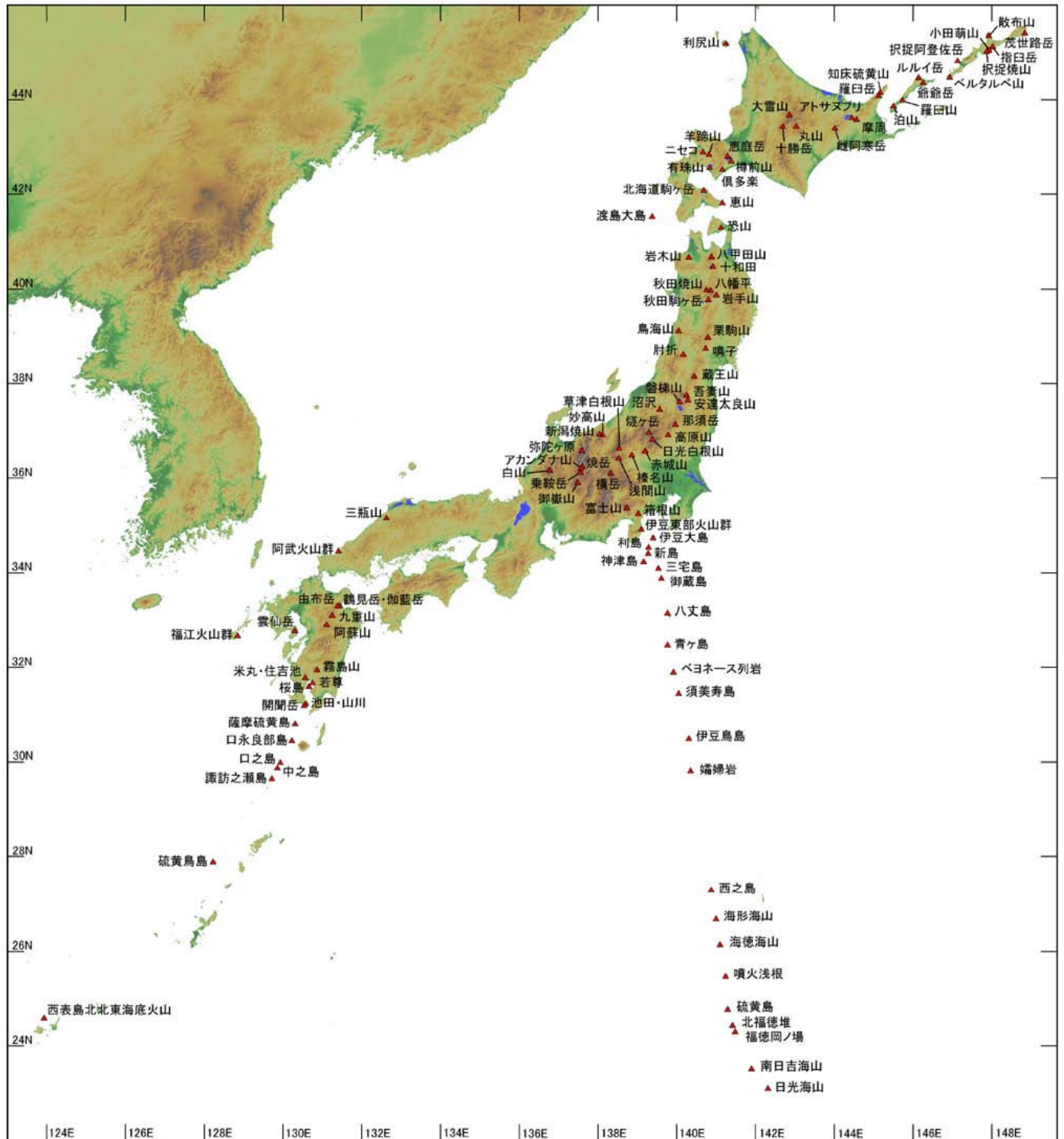


図 活火山分布図